



まだ誰も知らない安心を、ともに。

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1

www.aioinissaydowa.co.jp

**当社所属プロゴルファー・菅沼菜々選手が
100万円を日本パラスポーツ協会へ寄付**

2026年1月20日

MS&ADインシュアランス グループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）所属の菅沼 菜々選手（プロゴルファー）は、公益財団法人日本パラスポーツ協会（以下、日本パラスポーツ協会）に対し、2025年シーズンに獲得した賞金から100万円を2025年12月に寄付し、2026年1月に寄付金目録の贈呈式を実施しましたので、お知らせします。

1. 背景

広場恐怖症を持ちながらプロゴルファーとして活動する菅沼選手は、パラアスリートに親和性を感じており、同時にリスペクトしています。2025年シーズンにプロ通算3度目の優勝を果たした菅沼選手は、パラアスリートにエールを贈り、ともに前を向いて頑張りたいという意向から、獲得した賞金の一部を日本パラスポーツ協会に寄付することとしました。菅沼選手による寄付は2022年度から継続して行われており、今回が4回目となります。

※日本パラスポーツ協会と当社は2014年よりオフィシャルパートナー契約を締結しています。

2. 寄付の概要

（1）寄付先

名 称： 公益財団法人日本パラスポーツ協会（東京都中央区日本橋蛎殻町2-13-6）
代表者名： 会長 森 和之
寄付金額： 100万円

（2）寄贈式

1月19日（月）にセルリアンタワー東急ホテル（東京都渋谷区桜丘町26-1）にて執り行いました。



左から プロゴルファー 菅沼 菜々選手、日本パラスポーツ協会 会長 森 和之

3. 今後の展開

菅沼選手は、自身の賞金の一部を今後も継続して日本パラスポーツ協会に寄付することで、社会貢献活動を実践するとともに、パラアスリートへの支援を自身の競技活動の励みにしたいと考えています。当社は、日本パラスポーツ協会と菅沼選手の活動を今後も支援していきます。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さんに貢献する活動を行ってまいります。



あいおいニッセイ同和損保は、「CSV×DXを通じて、お客さま・地域・社会の未来を支えつづける」ことを目指しています。最先端・独自の技術やデジタル・データの活用、特色あるパートナーとの協業により、お客さま・地域・社会が真に求める新たな価値を提供していきます。また、国内外のあらゆる事業を通じて、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決にグローバルに取組みます。

